

令和6年度事業計画

【事業計画】

国は令和5年4月、「今後の原子力政策の方向性と行動指針」を決定し、高速炉や高温ガス炉を含む次世代革新炉の開発や原子力発電所の運転期間延長など既設発電所を最大限活用すること等の方向性を示した。我が国のエネルギー安全保障と脱炭素化の推進のためにはエネルギー自給率の向上が不可欠であるが、原子力発電所の再稼働や次世代型原子炉の開発にあたっては安全性を第一とし、国民や住民の理解を得ていかなければならない。また、昨年8月の東京電力(株)福島第一原子力発電所事故に係る処理水の海洋放出開始に伴い、放射線や原子力に関する関心も高まっている。

こうした中、「広く県民に、放射線の基礎知識と原子力の安全等に関する幅広い知識の普及の啓発の事業を行い、もって放射線及び原子力に関する科学技術の振興に寄与する」ことを目的とする公益社団法人茨城原子力協議会の役割は、ますます重要性を高めている。

このため、令和6年度においては、引き続き厳しい財務状況の下ではあるが、以下のとおり展示館事業及び普及啓発事業等を計画的かつ効果的に実施し県民の理解促進に繋げていくとともに、抜本的な経営改善に向けた取組を強化していく。

I 展示館事業

1 原子力科学館の常設展示及び企画展示等

(1) 原子力科学館展示物のリニューアル

5カ年計画の最終年度となる令和6年度の第五期工事では、「ボイスフィールド -未来の私たち-」として、原子力分野に携わる人々のインタビューや来館者参加型の展示で構成され放射線や原子力について考えるコーナー、エネルギーと暮らしのあり方などのテーマに対して投票形式や記入式で来館者が参加することで考えていただく展示・コーナー等を整備する。

(2) 常設展示

	展示名	開催時期	内容
①	常設展示	通年	<ul style="list-style-type: none">・原子の科学や放射線の基礎、原子力と放射線の利用及び原子力の安全に関する展示・ガイダンスシアター「アトミックトラベル -原子の力-」・ラジエーションボックス -放射線の正体- (世界最大級の霧箱等)・ネイチャータウン -自然界の放射線-・テックストリート -人と放射線・原子力の利用-
②	JCO臨界事故模型	通年	【経済産業省からの受託事業】 JCO臨界事故について、装置の模型、映像、パネルを展示

③	東海第二原子力発電所の安全対策に係る展示	通年	【日本原子力発電(株)からの受託事業】 東海第二原子力発電所における安全対策をパネル等で展示
④	梶田教授のノーベル物理学賞受賞記念展示	通年	梶田教授のノーベル物理学受賞及びJ-PARCとスーパーカミオカンデを繋ぐT2K実験の解説パネルを展示

(3) 企画展示及び関連講演会

	展示名・講演会名	開催時期	内 容
①	マンガ de ひもとく生命科学のいま「ドッキン!いのちの不思議調査隊」	5/8～6/16	記憶を操作したり、遺伝する病気をゲノム編集で予防するなど、まるでSF映画や小説のような話題が次々に登場する最先端の生命科学を親しみやすいマンガでご紹介。
	講演会「生き物に関わるおはなし」(仮)	6月	水族館生きものトーク 講師：アクアワールド茨城県大洗水族館
②	講演会「冬の星座と惑星のおはなし & 星空観望会」(仮)	12月	講師：茨城県立土浦第三高等学校 岡村 典夫 氏
③	講演会「星と宇宙のはなし」(仮)	3月	星と宇宙についてのお話

(注) ①は全国科学館連携協議会との共催による企画展

(4) 貸しギャラリー

	展示名	開催時期	内 容
①	第36回アートロード展	3/19～4/14	東海村に居住又は勤務する文化協会東海美術連盟会員及びアートロード会員の作品(絵画・写真・書)を展示

(注) 企画展示以外の期間について、利用者を随時募集

2 原子力科学館イベント

	イベント名	開催時期	内 容
(1)	ゴールデンウィークイベント	5/3～5/5	実験、工作教室ほか
(2)	夏休みイベント	7/13～8/31	アインシュタイン博士の謎解き挑戦状(子供)
(3)	クリスマスイベント	12月	実験、工作教室ほか
(4)	親子星空観望会 & ナイトミュージアム	1月～2月	惑星や星座の観望

(5)	グランドオープン イベント	3月	リニューアル工事完成披露
-----	------------------	----	--------------

3 近隣科学館及び事業所等との連携

- (1) 実験・工作教室等
- (2) 夏休みスタンプラリー、2館及び3館スタンプチャレンジ
- (3) 職場体験の受入
- (4) 原子力広報機関連絡会への参加（第36回）

4 原子力科学館の運営管理

(1) 原子力科学館ホームページ等による情報発信

- ① リニューアル情報やイベント情報等の発信
- ② SNSの活用

(2) 原子力科学館への誘客広報

- ① 県内各小中学校に対し、原子力科学館を校外学習の場として利用するよう働きかけ
- ② 周辺地域の公共施設、観光施設等に原子力科学館リーフレットを常時配置
- ③ 近県の旅行代理店、茨城県内のバス事業者に原子力科学館リーフレットを送付
- ④ 原子力科学館の年間イベントスケジュールをホームページ上にて早期発信
- ⑤ 「大洗・ひたち海浜シーサイドルート」のサイクルサポートステーションへの登録

(3) 展示施設の維持管理

- ① 地震時避難誘導訓練（随時）
- ② 火災時の通報訓練、消火訓練（2回/年）
- ③ 普通救命講習会（1回/年）
- ④ 別館空調設備更新（展示室・研修室）
- ⑤ 受電設備の更新（高圧機器・低圧開閉器）
- ⑥ 本館2階換気回路の改修
- ⑦ 本館2階倉庫窓の防火対策
- ⑧ 段差解消機、受電設備等の定期点検（随時）

(4) 感染症対策

- ① 施設出入口及び館内にアルコール消毒液を設置
- ② 案内カウンターの机上に飛沫防止用の透明アクリル板を設置
- ③ 入口付近に非接触式検知器を設置し、希望する来館者の体温を測定
なお、職員のマスク着用については、来館者対応時は継続。

5 開館時間の変更等

来館者の実態を踏まえ、開館時間を「午前9時30分～午後4時」に変更する。

また、施設設備の保守点検や改修・更新を安全かつ計画的・集約的に実施するため、繁忙期以外の期間において、必要に応じて臨時休館等の措置を講じる。

II 普及啓発事業

1 講演会、セミナー等開催事業

	事業名	実施時期	内 容
(1)	学校への専門家派遣事業	7～3月	【茨城県からの受託事業】 茨城県内の小・中学校、高等学校に原子力専門家を派遣(又は原子力科学館に来館)し、授業の一環として、放射線に関する実験や講義を実施
(2)	原子力と放射線の基礎知識普及・啓発講座事業	7～3月	【茨城県からの受託事業】 茨城県民を対象に、原子力専門家による原子力と放射線に関する基礎知識の普及啓発講座を実施
(3)	教員向けセミナー	8月	【茨城県からの受託事業】 原子力教員セミナー 対象：県内の教職員、教育委員会職員等 ① 動画配信 講義「放射線の基礎知識」 ② 実習「身の回りの放射線測定体験」、「目で見る放射線観測体験」及び原子力関連施設見学
(4)	那珂市原子力科学工作教室	8月	【那珂市からの受託事業】 目で見る放射線観測体験（霧箱作製）
(5)	ひたちなか市原子力科学工作教室	8月	【ひたちなか市からの受託事業】 目で見る放射線観測体験（霧箱作製）
(6)	鉾田市原子力工作教室	1月	【鉾田市からの受託事業】 目で見る放射線観測体験（霧箱作製）
(7)	東海村職員研修		【東海村からの受託事業】 新規
(8)	常陸太田市原子力科学工作教室	8月	【常陸太田市からの受託事業】 新規 目で見る放射線観測体験（霧箱作製）
(9)	サイエンス工房	4月～3月	児童・生徒等を対象に、科学への関心・興味を喚起することを目的に実施
(10)	講演会の開催		展示館事業の企画展示及び講演会参照
(11)	出前原子力展示	8月 9月 11月 11/23	市町村等のイベントにおいて、パネル展示や放射線測定器による測定体験など、放射線や原子力の基礎知識のミニ教室を開催 ① なかひまわりフェスティバル ② 2024 市民生活安全フェスティバル（日立市） ③ 商工感謝祭&大洗あんこう祭 ④ 東海村 I～MOのまつり
(12)	視察研修 研修会	11月	研修会 福島第一原子力発電所等（予定）

(13)	新春のつどいの開催	1/9	会場 : 水戸プラザホテル 参加人数 : 約 350 名 (予定) 出席者 : 知事、国会議員、県議会議員、市町村長、正会員、賛助会員等 出展ブース : 県西南部地域 3 市 2 町及び会員企業 (予定)、(公社) 茨城原子力協議会
------	-----------	-----	---

2 調査・分析、資料収集・提供事業

(1) 広報紙「かがやき」の発行

発行回数	2 回/年
発行部数	5,000 部 (2,500 部×2 回)
主な内容	第 92 号 (7 月発行予定) ・令和 6 年度定時総会を開催、GW イベント報告、市町村夏のイベント情報、展示館イベント情報他 第 93 号 (3 月発行予定) ・令和 7 年新春のつどいを開催、市町村春のイベント情報、展示館イベント情報他

※茨城原子力協議会ホームページにも掲載し、情報提供を行う。

(2) 放射線監視・防災対策専門員事業【茨城県からの受託事業】

実施時期	令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日
配置先及び配置人数	茨城県 2 名、東海村 1 名 協議会 3 名
活動内容	放射線監視や原子力防災業務の支援

(3) 東海村原子力安全対策支援事業【東海村からの受託事業】新規

実施時期	令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日
配置先及び配置人数	東海村 1 名
活動内容	放射線監視や原子力防災業務の支援 (原子力安全対策の支援)

(4) 監視データ整理事業【茨城県からの受託事業】

実施時期	令和 6 年 5 月中旬～令和 7 年 3 月 31 日
実施内容	監視委員会評価部会報告書(案)取りまとめ、データ分析、印刷 85 部×4 回 監視委員会評価部会報告書取りまとめ、印刷 105 部×1 回 環境放射線監視季報取りまとめ、印刷 320 部×1 回

(5) 原子力広報業務事業【茨城県からの受託事業】

ラジオ広報	
実施時期	令和7年2月～3月
実施回数	40回(2回/日)
実施内容	茨城放送を活用し、専門家がアナウンサーの問いにわかりやすく答えるQ&A形式で実施
動画広報	
実施内容	ラジオ広報のQ&A形式内容を、さらにわかりやすく図や表を加え動画として制作

III 総会・理事会等(予定)に関する事項

	日程	審議事項
第1回理事会	5月下旬	令和5年度事業報告及び収支決算、定時総会の開催について
定時総会	6月下旬	令和5年度事業報告及び収支決算について
第2回理事会	11月下旬	令和6年度収支予算の補正(案)等について
第3回理事会	2月下旬	令和6年度事業報告、収支予算の補正及び収支決算見込み、令和7年度事業計画及び収支予算等について

IV 組織体制等に関する事項

1 抜本的な経営改善

当協議会の財務状況は近年急激に悪化している。その直接的な原因は受取会費収入の漸減及び受託事業収益の大幅な減少であるが、一方で比較的資金に余裕があった時期(東日本大震災前)に拡大した自主事業等について本格的な見直しを行ってこなかったことも大きな要因である。

このため、令和6年度においては、以下のような抜本的な見直しを行い、当初予算についても収支均衡を図る。

○事務局職員配置の見直し

受託事業の動向等を踏まえ、関係機関と調整の上、事務局職員の配置を見直す。

○管理運営経費の削減及び事業経費の見直し

長年の慣習を見直し、施設管理に関する委託業務の見直し、会議会場等の変更、高騰する電気料金削減に繋がる取組の導入等、管理運営経費の徹底した削減を図る。

事業経費についても実施方法の見直し等により、事業内容の水準を確保しつつ、可能な限りの削減に努める。

○新たな受託事業等の提案・獲得

協議会が保有する豊富な人的ネットワークやノウハウ、令和6年度未完了予定の原子力科学館リニューアル等を活用し、地方公共団体や公的機関等に対して新たな受託事業等を提案し、その実現化と獲得に努める。

○一部の自主事業の休止等

一部の自主事業について、財務状況が改善するまでの間、休止とする。

○施設設備の改修・更新等

施設設備の改修・更新等に要する費用については、令和5年度と同様に事業特定資産の一部を取り崩して対応する。

2 事業力の強化

原子力施設の周辺地域のみならず茨城県全域において、普及啓発活動などの事業展開を図るとともに、国、県などの補助制度の積極的な活用、並びに新たな受託事業獲得への取り組みを進める。

また、外部資金の導入にも努める。

3 組織体制

数少ない人的資源を有効に活用するため、外部研修等を通じて職員の意識改革とスキルアップを図るとともに、「顧客第一」の徹底を図る。

4 新たな中期計画の策定等

令和2年度を初年度とする「中期計画」に基づき計画された事業の着実な推進、目標達成に努める。併せて次期中期計画（令和7年度～令和11年度）を策定する。